

アスベストによる公害紛争処理対応のための基礎調査報告書について

公害等調整委員会では、社会的に注目されている石綿（アスベスト）について、その用途や毒性評価等科学的知見や諸外国の対応状況を含む基礎的な知見とともに、現行の石綿を巡る紛争事例や裁判例、石綿による健康被害補償のための制度の概要を調査し、取りまとめた。

本調査結果は、今後、環境を経由した石綿の汚染による健康被害を巡る公害紛争や苦情があった場合、その処理の円滑な推進に活用されることが期待される。

1. 調査結果の概要（別紙参照）

第 1 章 アスベストに関する基礎的知見の整理

A アスベストの物理化学的性質、生産量、用途、毒性評価、測定法等

B アスベストに係る現在の規制や使用等の概要

大気汚染防止法、健康被害救済法等の概要や米国等諸外国の対応状況

第 2 章 アスベストによる健康被害紛争の事例整理

新聞、裁判例によるアスベスト紛争の事例概要の整理と主要 5 事例（東京都（文京区）、兵庫県（尼崎市）、大阪府（泉南市等）、奈良県（王子市等）、熊本県（松橋町）の現地調査

裁判例の概要：

- ・ 石綿を扱った工場・事業場の周辺住民等によるアスベストによる健康被害に係る訴訟事例は、元従業員の作業服に付着したアスベストの吸引によって家族が健康被害を被った（家庭内ばく露）として、企業を訴え、棄却された裁判の 1 例のみである。
- ・ その他、訴訟途中で和解に至った事例（文京区さしがや保育園）、国家賠償請求訴訟の例（泉南地域、係属中）があった。

第 3 章 まとめと今後の課題

アスベスト問題の対応のための課題として、兵庫県、奈良県の事例や大阪府の訴訟事例等について引き続き注意深く見守っていくこととともに、アスベストによる健康被害が、過去 30～40 年以上前のばく露によることから、引き続き労働環境以外でアスベストによる健康被害が起こる、当時の

状況についての情報等過去の知見の集積につとめること等を指摘。

第4章 有識者へのヒアリング

調査の実施に当たっては、以下の専門家から御指導をいただいた。また、渡邊先生にはアスベスト公害の因果関係認定におけるアメリカ法の動向等について御執筆いただいた（参考 参照）。

神山宣彦 東洋大学経済学部教授自然科学研究室

内山巖雄 京都大学大学院工学研究科教授

小西淑人 日本作業環境測定協会部長

渡邊知行 東京経済大学現代法学部助教授

2. その他

本報告書は、都道府県等に配布することにより活用を図ることとしている。

(連絡先)

公害等調整委員会審査官室

担当 丹菊

電話 (代表) 8581-9601

(内線) 2325

(直通) 3581-9954